

新日本宗教青年会連盟・第56回 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典 (8.14 式典)

世界の平和を祈り、実践する



千鳥ヶ淵墓苑の六角堂において、戦没者に向かい平和を祈願して1分間の黙祷



岡野青年本部長が本会を代表して 司会の大役を務めた野口さん
力強く勤行を念唱 (埼玉北本宿支部)



式典前に各教区の代表者が真心からの天茶供養を厳修



折鶴のお焚き上げを御霊地浄炎場にて行う (21日)

終戦記念日を翌日に控えた8月14日、本会が加盟する新日本宗教青年会連盟主催の第56回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)が日中より静かに降り続く雨の中、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて開催された。

今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、各教団代表者が参列する中、本会からは岡野孝行青年本部長が参列した。

なお、式典の様子はライブ配信され、各加盟教団全国の会員が時を同じくして平和を祈願した。

式典は、午後6時に開式。今回の式典の司会を野口聡士さん(埼玉北本宿支部)が務める中、まずは、宮本泰克新日本宗教青年会連盟委員長の主催者挨拶の後、新宗連を代表して岡田光央理事長が挨拶

された。

続いて各教団代表による、教団別礼拝が行われ、本会からは岡野青年本部長が先達を務め、祈願文、三綱五常報恩を念唱した。

その後、善隣教の泉愛さんが平和のメッセージを青年を代表して発表。平和を祈願して代表者全員が1分間の黙祷の後、献花へと続き、平和への誓いを新たに午後7時に閉式となった。

また同日式典前に、本会東京地区協議会主催のもと、各教区代表が参列して靖国神社参拝が行われた。その後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に移動し、戦没者に対して、真心からの天茶供養を捧げた。

翌週の21日には、本会の青年本部役員による特別慰霊祭が千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて、全国各支部から寄せられた約

23万羽の折鶴が六角堂周辺に飾られる中、厳粛に執り行われた。

式典では、献納、献花、献鶴に続いて、御靈魂に捧げる言葉が述べられた後、岡野青年本部長の先達により特別供養塔にて般若心経7巻が厳修された。

終了後、御霊地浄炎場に場所を移し、隈元正樹新宗連青年会事務局長立ち会いのもと、折鶴のお焚き上げが行われ、8.14式典の行事一切が締めくくられた。

黒姫出張所・天茶法薬加持の儀

作業の安全を祈願

長野県黒姫高原に晴天の陽射しが注ぐ中、8月20日、黒姫出張所において天茶法薬加持の儀及び工場火入れ式が執り行われた。今回も昨年同様、新型コロナウイルス感染防止のため、岡野英夫理事長はじめ本部役職員のみで式典が催行された。

まず式典に先立ち、地元の氏神様である、諏訪神社と赤渋神社を参拝して日頃のご加護への感謝を捧げた後、黒姫出張所へ移動した。

正午、黒姫工場2階御神前にて岡野理事長が導師となり、天茶法薬加持の儀が行われた。

続いて、第1作業棟にて火入れの儀と天茶の撒き供養が行われ、作業の安全が祈願された。

今年も例年と変わらず黒姫の広大な自



然の中で良質な天茶に恵まれ、各家庭に届けられる予定である。

第144回 米国解脱教会秋季大祭

解脱の教えの灯火を次世代へ



第3部柴燈護摩の儀・コロナウイルスを通じて学んだことへの感謝の祈りを捧げた

米国解脱教会では9月5日、コロナ禍における1年半以上にわたる自粛を経て、会員が一堂に会しての第144回米国秋季大祭がサクラメント御霊地にて開催された。

当日は感染面のリスクが依然として残っていることから、ロサンゼルス教会発着の無料シャトルバスも今回は取りやめるなど様々な対策を施し、さらに現地での開催となった。また、参列を見送った会員のためにYouTubeによるライブ

放送も同時に行った。

第1部式典では、ジェイソン・デットワイラー氏の司会のもと、拝礼行事、尊者のみ声「五法則」拝聴、萬霊大供養と行事が進められた。ビデオ動画による記念講話では、宮坂保徳教務局長からオリンピックの聖火にちなみ火の尊さ、有り難さを話しながら「解脱の教えの灯火を次世代につないでいくことが私たちの使命である」と述べ、会員の自覚を促した。

第2部解脱霊廟祭祀の儀では、今年は



第1部式典・萬霊大供養。祈りを捧げる

新たな靈魂を奉る祭祀を延期し、金剛さまと、金剛さまのもとで日々お働きになられている現在祀られている精霊に対し会員一同で感謝の供養を捧げた。

第3部柴燈護摩の儀では、新型コロナウイルスを悪の根源として忌み嫌うのではなく、受け入れて新たな社会へと前進していくためにも、これまでの「コロナウイルス感染症終息」から、「コロナウイルスを通じて学んだことへの感謝」の祈りに変更し、参加者一同で捧げた。

今回は地元のサクラメント在住の会員を中心とした少数での大祭となったが、当初の想定より多くの会員が足を運び、久しぶりに再会できたことを心から喜び、あらためて大祭が開催できることの有り難さをかみしめた素晴らしい一日となった。

解脱金剛奉賛会 設立50年企画 奉賛会体験

会員と共に歩み、さらなる大きな喜びを

大分城原支部 北島 恵梨子



32年前、父が51歳で急逝したことは、家族で教えを学ばせていただいていた私たちには信じられませんでした。その心が癒える間もなく弟が精神病になり、母と私はさらに深い悲しみに陥りました。しかし母は苦しみの中、弟を救いたい一心でゆるぎない強い信念をもち、さらに真剣に解脱の教えを学ぶようになりました。

私が結婚する際、母は「うちの娘と結婚するということは、解脱と一緒に学ぶということです」と主人にはっきり伝えました。母の熱意を素直に受け入れた主人は、私と共に学んでくれるようになり、結婚を機に、主人の仕事で上京した際、三鷹連雀支部で4年間お世話になりました。その時、松田支部長ご夫妻から頂いたご指導は、私たち夫婦の基盤となりました。

母の真剣な気持ちが許され、5年前、

大分東支部より独立し、私は大分城原支部の支部長を拝命しました。そして2年前、次男が米国教会の記念大祭に参加させていただきました。青年部時代に「太陽の翼」という行事でサクラメント御霊地を訪れていた私は、三十数年ぶりに次男を通して瀬部明開教師と再びご縁を頂くこととなりました。瀬部先生は支部を授かったことをとても喜んでくださり、「太神様の存在」「金剛さまへの強い帰依心」「会員さんの幸せを祈らせていただけることに感謝することの大切さ」を教えてくださいました。また、「自分を責めてはいけないよ」と先生の温かい言葉にも救われ、先生のご指導は染みわたるように私の心へ入っていきました。

先生からのご指導と共に、金剛さまへのお返しの行として奉賛会があることを会員さんにお伝えしました。長きにわたり奉賛会員である母から「どんなことがあろうと奉賛会には入会させていただくのがよい」と以前から聞かされてきました。お蔭さまで、今年支部から5名の方が奉賛会に入会

する運びを頂きました。会員さんは驚くほど自然な形で入会され、会員さんのとても素直な気持ちに心が洗われました。

先人先覚者の方々のご苦勞があり、今があります。布施行として先輩方が繋いでくださった奉賛会のご精神を私たちも受け継ぎ、これをさらに広め伝えていくことが大切であると考えます。私たち会員はこのような尊い報恩行をさせていただける、このことこそが喜びであり有り難いことなのです。

まだまだ若い支部ですが、会員同士は家族のようです。支部は太神様、金剛さま、ご先祖さまから授かった最高のギフトです。支部をお預かりして本当に有り難く、勿体ないのです。

今後も会員さんと共に学び、歩み、様々な体験を積み重ねていき、さらなる大きな喜びを分かち合いたいと思います。

この様な導きを頂き、いつも私のそばにいらっしゃるとうきぎ父にも感謝したいです。

本部研修・仲介者養成1日コース

感染対策をして、安心安全の御五法修業を

8月28日、仲介者養成1日コースが御霊地・解脱研修センターにて開催された。緊急事態宣言下でありながら30名もの参加があり、中には九州から足を運んだ会員の姿もあった。

午前10時、拝礼行事の後、開講挨拶にて大賀光夫修法部長は、安心安全の研修とするため、一人ひとりの感染対策の理解と協力を求めた。続いて岩田始修法部次長より、修法シートをテキストに「初期の霊動」の項目について講義を受けた。

その後の班別実修では今回、各3名程度の少人数で11班を編成。会場を4階ホールと3階お浄めの間に分け、班ごとにパーテーションで区切るなど、各所で細やかなコロナ対策が設けられた。また配布資料として感染予防をして御五法修業を行うための手引きが配布され、本研修でもこれに則って実修が行われた。

午後もし引き続き実修が行われた後、最後にまとめとして田村和彦常任理事より「支部で仲介者としてお使いいただく上



では、修業者に信頼していただける人間になること。また、常に支部長と連携を取り、決して支部長の先に出ないよう心掛けることも仲介者としての勉強」との指導を受けた。参加者たちは研修での学びを各自、支部にて活用することを誓い合い、午後4時、散会した。

中部圏域・ダリア女子会

母子共に夏の楽しいひと時を過ごす

中部圏域の女性の学びの場である「ダリア女子会」では7月31日、中部道場にて夏休み特別企画を開催。新型コロナで活動を自粛してきたが、万全な感染対策で実施した今回、約一年半ぶりの再会に喜びの笑顔が満ちていた。

恒例のママカフェは、中部の子育て・孫育て世代の会員同士がコミュニケーションを図る場として毎回好評を得ており、子育て・孫育ての相談や子育てにひと段落した先輩ママの経験談などを語り

合い、和気藹々とした時間を過ごした。

一方、母親らがママカフェに参加している間、子供たちは現役教諭を含むスタッフからアドバイスを受け、じっくり集中して夏休みの宿題に臨んでいた。

後半では、消臭ビーズを水に浮かべる実験や、アルミ缶に入れて熱した水を急に冷やすとどうなる? といった、大人も子供も楽しめる時間を過ごした。

今回の企画は、保護者には育児を離れてリフレッシュする良い機会に、子供に



は普段と違う環境でじっくり楽しく宿題を取り組めた良い機会になった。

スタッフは、「今後もダリア女子会は、子育てに励むお母さんと、将来の子育て世代である女子青年部員の学びの場を広げ、共に成長できるよう活動していきます」と意気込みを語っていた。

読書のススメ

新書判 『金剛さまの思い出』
第1巻～第7巻（以下続刊）



各巻 定価 1,000円(税込)

コロナ禍の今こそ、金剛さまに学ぼう――。

先人先覚者たちが金剛さまと過ごした「思い出」をまとめた書籍『金剛さまの思い出』『続・金剛さまの思い出』『解脱金剛尊者の思い出』に、さらに単行本未収録のエピソードを加えて再編集したシリーズ。

ページをめくるたび、会員の幸せを願われた金剛さまの温かくも熱意あるご指導が、時を超えてよみがえります。

読書の秋、ぜひお買い求めください。

ご購入・お問い合わせ：解脱会事業部

事業部からのご案内

【天茶エキス・ミニ】



天茶エキス・ミニ (12gx3本入) 2,400円(税込)

釈迦の生誕を祝う灌仏会(花祭り)の際に仏像に注ぎかける尊いものとして古くから知られる天茶。その功德は図りしれないものです。さらに天茶は、生薬として江戸時代から飲まれてきました。その天茶を濃縮した天茶エキスは、外傷や胃腸疾患、また花粉症などのアレルギー疾患にもお奨めです。さらに携帯用サイズは、ポケットに入る大きさで旅行や出張先でも手軽に使えて大変便利です。

ご購入・お問い合わせ：解脱会事業部 TEL：03-3353-2191
Eメール:soumubu@gedatsu.or.jp

九州教区・長崎原爆犠牲者供養

犠牲者へ真心からの祈りを捧げる

九州教区では7月25日、長崎原爆犠牲者之供養祭を平和公園内にて開催し、新型コロナウイルスの感染防止のため、教区役員が代表して参列した。この日、爆心地碑前に設けられた祭壇には、お給仕の天茶やお供物が供えられ、その他、教区女性部活動の一環によって真心で手作りされた色鮮やかな千羽鶴が各支部か

ら捧げられた。

供養祭当日は、縄田豊治担任部長の司会の下、初めに弘中由治教区長が挨拶を述べた後、原爆投下の時刻に合わせて犠牲者へ1分間の黙祷。続いて、弘中教区長が諷誦文を奏上した後、犠牲者へ慰霊の祈りと恒久の平和を願いながら真心から天茶供養を捧げた。



コロナ禍のため集会がはばかれる時期ではあったが、真心からの供養を無事に捧げることができたお蔭さまを参加者一人ひとりが噛み締めた一日となった。

解脱金剛73年祭について

●日時:11月4日(木) 正午 ●場所:京都・御寺泉涌寺

本年の御年祭は、新型コロナウイルス感染防止対策のため以下の通りとなります。ご理解とご協力をお願い致します。

■参加人数

・650人に制限させていただきます。

■受付について

・入場受付開始は9:30です。
・大門前にて検温及びリボン(参加章)を確認します。

■直参・代参感謝金およびお給仕料の受付について

・御寺泉涌寺への感謝金を除く全ての感謝金・お給仕料は、大門前に設置した受付にてお捧げください。
※金剛宝塔において感謝金の受付は行いません。

※御寺泉涌寺への感謝金は、霊明殿参拝の際にお捧げください。

■お供物について

・検温後、支部の代表者のみ受付にて「参加報告書」と引き換えに直参及び代参感謝分のお供物をお渡しします。
※例年のように、各個人にお供物をお渡し致しません。

■会場について

・全て椅子席です。(自由席)
・お弁当・お土産など売店の出店はありませぬ。
・行事の前後に臨時送迎バス(乗車無料)を運行します。
※時間:10時から14時頃(予定)
※区間:京都駅八条口から泉涌寺大門
・当日は泉涌寺への自家用車の乗り入れはできません。各自で駐車場の手配をお願い致します。

お問い合わせ:解脱会総務部 TEL:03-3353-2191

第141回解脱金剛御生誕祭について

昨年同様、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、下記の通り開催いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■日 時:11月28日(日) 正午開式

■参加人数:制限は設けません。

■受 付:お山内に設置。検温、手指の消毒等を行います。

■会 場:椅子席(座席は自由)。

■宿泊及び食事:宿泊及び食事の申込み受付は行いません。うどん及び飲食を伴う接待はありません。

■駐車場:バス⇒第3駐車場/自家用車⇒第1・2・4駐車場・東駐車場(旧研修会館)
※上記以外の場所及び路上駐車はお止めください。

■ライブ配信:本会ホームページ会員専用ページより視聴できます。

■献灯の申し込み:支部を通してお申し込みください。

献灯感謝1口:500円(お一人何口でもお申し込みできます)

お問い合わせ:解脱会総務部 TEL:03-3353-2191



昨年の式典の様子

11月度研修のお知らせ

仲介者養成1日コースについて

支部において「修法シート」に基づいた仲介を行うと共に、「支部に貢献できる人になる」をテーマに行います。尚、開催にあたり感染防止対策を徹底して研修を行います。

日 時:11月20日(土) 10:00~16:00(受付9:30)

会 場:御霊地・解脱研修センター

対 象:支部長及び支部長が認めた方 ※仲介の経験がなくても安心して受講できます。

定 員:27名 申込締切:10月20日(水) 研修費:3,000円

※御霊地での宿泊はお受けできません。各自でお手配ください。



申込み・問い合わせ:解脱会修法部
TEL:03-3353-3706(布教部/修法部)
048-591-2526(御霊地/修法室)
FAX:03-3353-3708(教務局共通)